

公開シンポジウム
社会による子育てを目指して
大学の貢献を考える

大学も子育ての担い手

ソーシャル・ペダゴジーの一翼を担う

子育てに取り組む研究者・実践家が集い、
現代の子育ての課題と大学の役割を議論する

話題

- ・大学を基盤とする子育て・子ども支援
- ・日本の子育て・子育て問題と政策課題
- ・地方自治体と大学の連携
- ・ジャーナリズムと大学の連携

企画者 森茂起(甲南大学文学部)
北川恵(甲南大学文学部)
前田正子(甲南大学マネジメント創造学部)
伊藤篤(神戸大学発達科学部)
入江武信(兵庫県健康福祉部こども局)
太田真夫(神戸新聞パートナーセクター)

日時: 2016年12月11日(日)13:00~15:30
場所: 甲南大学18号館3階講演室

企画趣旨

少子化対策の必要性が叫ばれてからすでに久しい。少子化社会対策基本法(平成15年)の前文は、「我が国における急速な少子化の進展は、(中略)二十一世紀の国民生活に、深刻かつ多大な影響をもたらす」と記し、その後現在に至るまで、少子化対策は政策課題の重要な柱であり続けている。兵庫県が制定した地域創生条例の基本理念の第一も、「少子高齢化及び人口の減少を抑制し、県民が将来への希望を持つことができる社会を実現し、県内の各地域で活力を生み出していくこと」である。

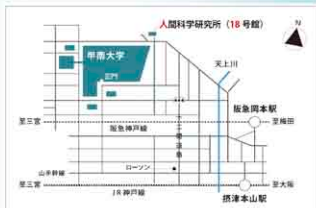
その中で、重要な課題は、数的目標の追求だけでなく、あるいはそれ以上に、子どもが育ちやすい、子どもを育てやすい社会を実現し、子どもの育ち、子育ての質を向上させることである。そのために、大学も、研究者・実践家の知識、技量を生かして、地域の子ども・子育て支援に貢献していくことが求められる。

本シンポジウムでは、大学内外の関係者が、現在までの経験を紹介しながら、「社会における子育て(ソーシャル・ペダゴジー)」のためのいっそうの連携を目指して議論したい。

企画者 森 茂起

プログラム

- 13:00～ 開会挨拶(人間科学研究所所長)
13:10～ 企画趣旨(森茂起)
13:20～ 13:40 前田正子
「日本の子育てが抱える問題と政策課題」
13:40～14:00 北川恵
「大学の子育て・子ども支援①：教育・研究・地域貢献のバランス」
14:00～14:20 伊藤篤
「大学の子育て・子ども支援②：地域との協働モデル」
14:20～14:40 入江武信
地方自治体の子ども政策と大学への期待
14:40～15:00 太田貞夫
ジャーナリズムと大学の連携による子育て・子ども支援
15:00～15:30 意見交換



- ・阪急神戸線同本駅またはJR神戸線三宮駅下車、北西へ徒歩約10分。
- ・会場には駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

問い合わせ先：甲南大学人間科学研究所
e-mail: kihs@center.konan-u.ac.jp
TEL/FAX: 078-435-2683
URL: <http://www.konan-u.ac.jp/kihs/>

シンポジスト

北川恵(甲南大学文学部人間科学科教授)

専門：臨床心理学。乳幼児期に親子の間で形成される絆＝愛着(アタッチメント)研究。アメリカで開発された親子関係支援「COS(Circle of Security)プログラム」や「安心感の輪」子育てプログラムを、甲南大学人間科学研究所主催の「親子がホッとつながるグループ」で実践。著書：『アタッチメント一生にわたる絆』ミネルヴァ書房ほか

前田正子(甲南大学マネジメント創造学部教授)

専門：少子化・子育て支援・自治体経営 関西における女性就業率の拡大に向けた提言「女性は関西で夢を描けるか？鉄は熱いうちに打て」。元横浜副市長。著書『みんなでつくる子ども・子育て支援制度 子育てしやすい社会をめざして』ミネルヴァ書房ほか

伊藤篤(神戸大学発達科学部教授)

専門：子ども家庭福祉論。出産から青年期までの子どもの発達を支援する環境や仕組みの研究、子育てひろばの資源編成と地域との協働モデル(家庭と公的資源やNPOなどの地域資源との協働)の実践と研究など。神戸市と連携した地域子育て支援拠点(施設)「のびやかスペース あーち」を神戸大学において運営。編著書：『子どもの生活と発達』学術図書出版社ほか

入江武信(兵庫県健康福祉部こども局長)

昭和59年 兵庫県入庁。厚生労働省保護課課長補佐、健康福祉部いのち対策室長、障害福祉課長、社会福祉課長などの福祉関連職を歴任。平成28年4月から健康福祉部こども局長として、兵庫県の少子対策及び子育て支援の施策、児童及び家庭の福祉に関する施策の企画・調整、推進等に取り組んでいる。

太田貞夫(神戸新聞パートナーセンター長)

社会部記者として阪神・淡路大震災の報道などを担当。社会部長、編集局次長を経て2015年から神戸新聞パートナーセンター長として、地域連携、大学連携の推進や子育て支援事業などに取り組んでいる。兵庫県地域創生戦略会議委員、神戸市創生懇話会委員。著書『大震災 地下で何が』神戸新聞総合出版センターほか